

KOUFUKU KENGUTAI 2
MANMACHINE INTERFACE
created by MASAMUNE SHIROW
SPECIAL PAMPHLET

This pamphlet is remarks of
"BOOK in BOOK" appeared in
YOUNG MAGAZINE 1999.12.6 NO.1

MANMACHINE INTERFACE

The background illustration features two anime-style female characters. The character in the upper right has long, wavy reddish-brown hair and is wearing a purple strapless top. She is looking towards the left. The character in the lower right has short blonde hair and is wearing a purple and pink top. She is holding a large, complex mechanical device that resembles a piggy bank with a pig-like face. In the background, there are dark, mechanical structures with orange glowing elements, possibly parts of a machine or a cityscape.

COMMENT IN 1999.12.07

『機動2』は一見して『機動1』と大分違う。面白さという点では一歩進んだところになっておらず、同じ話である。またカラーページが豪華に多く、画質がユニークだ。見るたびにエッチな絵が目につくが、諷刺的な意味に分けてほしい(誤バカ)。カラーにした最大のメリットは、「他人の目には見えなくても自分が見たいものが素人の目(顔)には見える電脳表示」を施き飽いても、「わけわからぬゴチャゴチャ」にならざるを得ないことだ。モノクロでも不可能ではないがあまりスマートフォンにはいかなむ。また、寝て死んでいるものや半透明のものもモノクロでは表現し難い要素も自由に飛べる。暗い場面も、(スクリーンショットの重ね取りで印刷トラブルのを増やす実態)自然に眩にできた。使った技術を使えるメカや兵器もアスファルトのない世界環境では有り難い。今回は全体的に近未来的なのでそれほどメリットはないが、どんな作品にも登場する共通の小道具や武器具はストックが増えれば増える程、より作品独自の要素に体力を集中できる。最初キャラもう一つで決めたが、元々キャラクターは想像表現豊かなキャラではない上にバグもあり黒い色。コマンドの微妙な変化の出場も後述通りの理由で止めた(どかばせうと言う程の品質じゃないけどね)。デジタルならでは何らかのメリットもあった。一度76キガ騒ぐて飛んでいった家があった。ウイルスではなく、同じ時期に入れたHDD(ハードディスク)が壊れとて突然死してしまったのだ。倉庫として使用していたディスクだったのでそこにあったデータがかなりの割合で壊された。一部のファイルが壊れてバグでかい上に(敵キャラを使用した状態でHGB3000000000000平均200メガ、各一部で3000メガオーバー)作業進行に従って規模に上乗せする必要があるのに断片代も定額となりがちでハード的なコストも多いのだ。フォトショップ(お絵描きに習っているソフトの方針)はメモリよりHDを酷使する傾向がある様だし、現在はディスクレイアウトレイ(並列HDDを2台駆動して使用)と従来の単独HDDと一時交換専用HDDアレイでリスク管理をしている。『機動2』でトータル3ギガ分のHDDを買入れた。新とベンに比べてかなりの価格差を減らす(アシスタントよりは安いから...)。それなのにこれで仕上がった前なのでマシなもの内鼎は「まあ良いのかもたけいな...」という出来だが、それなりに気に入っている。「これでどうだいオリャ〜!!」と言えるほどの完成度が無いのは残念だが、その分高品質アイテムボックスで風上げされてるものはベストなので良しとしてもらいたい。多量アイテムボックスの発売日どれくらい間隔を開けるかを決定したが、9月年度の1度同様の標準品で先行販売も検討する予定である。今回試験の実績で評価された着付けのシーン等を通して見ていくべきバージョニクスをもつものだが、そのせいで手落ちもある。あまり美しくない商品展開ではないが、それも現実味という事で(?)どうかご容赦を！ではまたその時、または次の機会でお会いしましょう。



COMMENT IN 1999.11.01

やろがマガジン読者の皆さん、お渡し済みです(ていうか最初
巻いての方がやりがちなホホ)。お読みながらスケジュール遅れ
てますが(すみません…遅延…)、もう8月までと決まっています。
「今まで読破された分を埋めるだけで十分に早行本出せるんじ
やないの?」とお思いの方もいらっしゃるでしょうが、内蔵がいま
いっただったため80ページ超えで、巻末9巻に聞ける話と最
後に聞ける話を巻中の前に分ける事にしたので、半分は上巻を
下巻としたり時間がかかっているのです。今回『妖術2』とし
て進行しているのは素子に聞ける話の方です。9巻に聞ける話
の方は今号『妖術3』として埋める予定で、そっち系ファン
の方、申し訳ありませんがまたもうちょっとお持ち下さい。9
巻が出たさかいにタイトルが「妖術異動録」なのはへんです
が初刊巻を優先でそうしました。ついでに言ってしまうと素子
は1巻のタイトルは「THE GHOST IN THE SHE
LL」、2巻のタイトルは「MANMACHINE INTER
FACE」です(『妖術』の方が略称でしょ)。2は「妖術異動録」
読しようかとか色々考えましたが結局ややこしいのは避けて
出版社所に任せてみました。『妖術2』の描き下ろし部分は全
てフルカラーで、『妖術1』より厚紙なつくりになっています。上
下々々下々々に1冊より厚紙なつくりになっていますが
それぞれにそれぞれに楽しみたいだけのものと思います。もうちょ
と上下々々読んで二か時がある方がいいという方も多分を
お持ち下さい。「原紙売ってどうする」とか言われたりもしますが、
せっかく講談社から頂いたチャンスなので多少冒険させて頂
くつもりです。僕自身、勝手にがっかりしているのを見るとついで
に2巻に書いて贈ってしまう心かな性根なので今回も分派
派とは知らず、豪華なボックス企画での出版となりました。
多少時間をあけて、1巻と同じサイズと装丁の「スカンガード
がージョニ(どでも言うておくが)」も出して頂ける為なので「奇
譚企画はイマイチなあ…」という方はそちらをお持ちになっ
て下さい。ボックスも、入っている内容物から想像するとかかなり
面白い為なので(博物館にはフチコマフィギュアがメインかな)、
ハッと元の半額程度より良い品になっていると思います。お店
から買って帰る頃ちょっと手間かもしれませんが…。CGに關
しては、自己ベストではあります持参すべき持参要素。いわ
ゆる「奇天楽の～」とか、ありませんので別冊派を。でもそれな
りに面白くない絵柄が出ているとは思っています。読破頂く
までもう少し時間がかかりますが、頑張って描いてまいりますの
で御容赦下さい。

胡新

MANMACHINE

MANMACHINE

MANMACHINE

MANMACHINE

MANMACHINE

MANMACHINE

MANMACHINE

MANMACHINE

MANMACHINE

MANMACHINE

MANMACHINE

MANMACHINE

MANMACHINE

MANMACHINE

MANMACHINE

MANMACHINE

MANMACHINE

MANMACHINE

INTERFACE

INTERFACE

INTERFACE

INTERFACE

INTERFACE

INTERFACE

INTERFACE

INTERFACE

INTERFACE

INTERFACE

INTERFACE

INTERFACE

INTERFACE

INTERFACE

INTERFACE

INTERFACE

INTERFACE

INTERFACE

INTERFACE

INTERFACE

INTERFACE

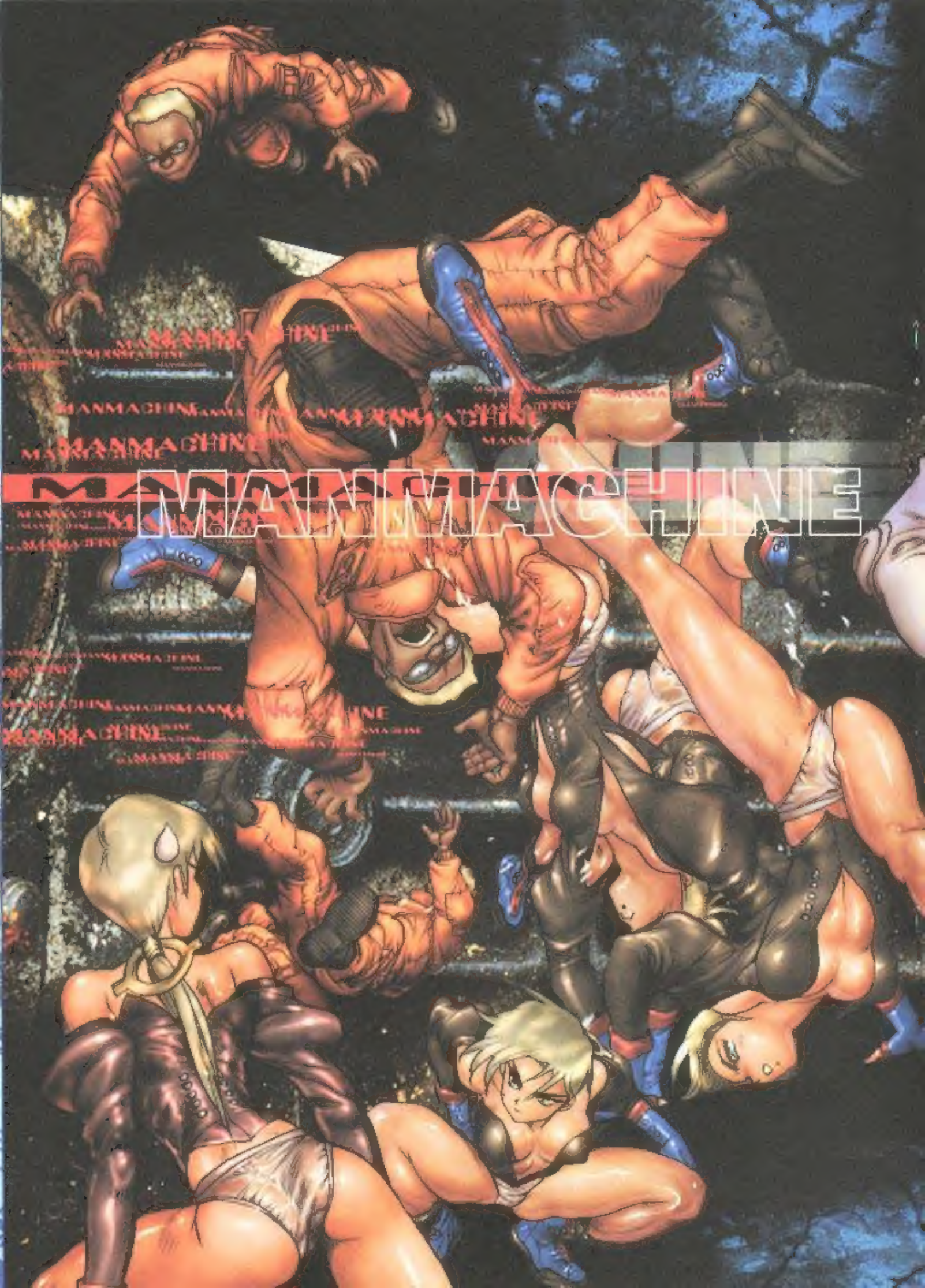


YOUNG MAGAZINE



士郎正奇

WASP LINE SHOW



MANMACHINE



INTERFACE

INTERFACE

INTERFACE











KOUKAKU KIDOUTAI 2
MANMACHINE INTERFACE
created by MASAMUNE SHIROW
SPECIAL PAMPHLET

This pamphlet is remake of
"BOOK in BOOK" appeared in
YOUNG MAGAZINE 1999.12 & NO.1



MANMACHINE INTERFACE

THE MANMACHINE

MASAMUNE SHIROW